

令和7年9月11日

多値論理とその応用研究会発表者の皆様

電子情報通信学会第二種研究会  
多値論理とその応用研究会 幹事  
上野 嶺

### 技術研究報告原稿執筆のお願い

前略 このたびは「多値論理とその応用」研究会の講演発表にお申し込みいただきありがとうございます。研究会では、講演予稿集（技術研究報告）を電子配布しますので、原稿を執筆くださるようよろしくお願い致します。原稿は添付の執筆のしおりに従ってお書きください。なお、この書き方に著しく逸脱したものや原稿提出期限に遅れたものは、電子配布されない場合がありますのでご注意ください。疑問点等ございましたら、下記まで遠慮なくお尋ねください。

草々

#### (1) 送信物一覧

- A. 技術研究報告原稿執筆のお願い（本ページ）
- B. 技術研究報告原稿執筆のしおり（次ページ）

#### (2) 原稿提出期限

令和6年11月28日(金)

#### (3) 著作権について

本研究会は、著者が投稿した原稿(以下、論文)の著作権を以下に示すように取り扱います。

1. 第二種および第三種研究会運営基準内規に準じて論文の著作権は著者に帰属するものとし、その本研究会への移譲は行わない。
2. 著者は論文を、任意の国内外学会論文誌・研究集会資料集に投稿できる。その際、本研究会への申請は一切必要ない。
3. 著者は本研究会に公開の停止をいつでも請求できる。本研究会は著者の請求後、直ちに公開を停止する。
4. 著者は、発表申し込みをした時点で上記の事項を承認したものとする。

#### (4) 問い合わせ先及び原稿送付先

送付物として原稿と発表者紹介を下記までメールにてご送付ください。なお、原稿については文字化け等を防ぐため、すべてのフォントを埋め込みにしたPDFファイルによる提出を推奨します。発表者紹介についてはメール本文に記述してもかまいません。

〒606-8215

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院情報学研究科 通信情報システムコース

上野 嶺

TEL: 075-753-5343

E-mail: ueno.rei.2e@kyoto-u.ac.jp

1. 原稿について:

原稿は原則として、ワードプロセッサ等によって作成するものとし、それを元に作成された PDF ファイルで提出するものとします。用紙は A4 版で、上下にそれぞれ約 20mm 程度、左右にそれぞれ約 15mm 程度の余白を設けて記述してください。余白が十分でない原稿は読み難くなる可能性があります。

また、原稿の第 1 頁上部には一段組にて上から標題として、

- a. 和文題目
- b. 英文題目
- c. 発表者和文氏名
- d. 発表者ローマ字氏名
- e. 勤務先
- f. 勤務先英称

を記入してください。続いて、概要を記述してください。第 1 頁のそれ以下及び第 2 頁以降が本文です。本文は 1 段組み、又は 2 段組みで書いてください。なお、本文中にはページ番号は付与せず、なるべく 1 つのファイルとして作成するようにしてください。

2. 原稿枚数:

表紙の第 1 頁を含めて 10 頁以内とします。それ以上の原稿は、掲載しかねますのでご注意ください。

3. 文字の大きさ:

原稿は、そのままの大きさで A4 版で電子配布されます。小さすぎる字やつぶれた字にならないよう注意してください。図表の文字も同様です。また、題目や氏名、勤務先などの標題はひとまわり大きな文字を使用してください。

4. 図と表:

原稿の任意の場所に直接配置してください。電子配布のためカラーも可です。

5. 別刷:

本研究会では別刷の発行は致しません。各自で印刷・コピーをお願いします。

6. 発表者紹介:

司会者より、発表者の紹介をいたします。発表者のプロフィールを適当な要領でご記入の上、原稿とは別データとしてお送りください。